

インテンシブ・フランス語
第 1 期 FA/FB シラバス
慶應義塾大学 SFC フランス語教室
2017 年秋学期

SFCにおけるフランス語教育は、実際に使えるフランス語を身につけることを第1の目標としています。従来の、一方的に文法知識を詰め込むという方法から脱皮し、インタラクティブな授業を進める中で、総合的な外国語運用能力を養います。

2017年度秋学期のインテンシブ1は、教科書を使わないクラス(FA)と教科書を使うクラス(FB)とに分かれています。

教科書を使わないクラスのFAでは、担当教員4名が文化・文法・実践の観点から授業の内容を構築していきます。

FBで使う教科書はフランスで出版されている *Agenda 1* (アシェット[Hachette]社) です。これは「学習者が協調して、毎回1つのタスクを達成していく」ことを目的にした教科書です。今学期は Jour 1 から Jour 6 まで進みます (Jour はいわゆるレッスンにあたります)。ただし、教科書はあくまでも学習の補助手段です。生きたフランス語は1冊の教科書の中に閉じ込められているわけではありません。我々教員も随時様々な補助教材を利用して、みなさんの知的好奇心を刺激しながら、教室での授業を運営していきます。みなさんには知識に対する貪欲さ、自分を表現し、他人を理解する意欲を十分に見せて欲しいと思います。

インテンシブ・コースは1期から4期まで、次のように総合的に設計されていますので、本格的に力をつけたい諸君にはぜひそのコースに沿って履修してください。国内研修と海外研修の詳細については、シラバスの各項目をみてください。

インテンシブ1期 → 国内研修 et/ou 海外研修 → インテンシブ2期
→ 海外研修 et/ou 国内研修 → インテンシブ3期 → 海外研修 et/ou 国内研修
→ インテンシブ4期

塾外実力試験としては、インテンシブ1期修了後の次の学期に DELF 試験の A1 をクリアするのが目標です。

大切なのは、授業に積極的に参加することにつきます。教室の中はひとつのシミュレーションの場ですから、間違えることなど恐れずに、提示される状況の中でどんどん「行動」して「場数を踏んで」ください。外国語学習の初歩では、進歩は勉強にかけた時間に比例します。

質問がある場合は、λ310のフランス語研究室へどうぞ。ここには教員だけでなく、CA(コーディネーターアシスタント)、TA、SAがいます。気軽に足を運んでください。またフランス語研究室からの連絡はメールか、HPで行います。 [http:// french.sfc.keio.ac.jp/](http://french.sfc.keio.ac.jp/)はいつも見るようにしてください。では...

Allons-y !

教材

-1FA

インテンシブ 1FA のクラスでは教科書を用いず、担当教員 4 名が文化・文法・実践の観点から授業の内容を構築していきます。

-1FB

授業で使用する教科書は *Agenda 1* (アシェット[Hachette]社) です。生協で各自購入してください。

その他自習で使える WEB 教材

- (1) 「フォローアップ・フランス語」 SFC フランス語教室制作：
<http://fuf.sfc.keio.ac.jp/>
で、動画で楽しく文法が学べます。
- (2) 《Podcast！》SFC フランス語教室制作：
<http://frip.sfc.keio.ac.jp/#3>
自分の i-Tunes にインテンシブ 1 のリスニング問題をダウンロードしよう。
printemps 2008 がみなさんに適したレベルです。

マルチリンガル・スペース(MMLS)

メディア・センター2 階は「マルチメディア・マルチリンガル・スペース」があります。居心地の良い空間に、CD-ROM、CD、ビデオ、雑誌、新聞、辞書、参考書（仏検、DELF・DALF 参考書も）などフランス語の勉強に必要なものは何でもそろっています。また、フランス語共同研究室隣の λ309 にもフランス語版 MMLS があります。ここには初級から中級までのフランス語の絵本、漫画、小説などもそろっています。教員や TA、そして SA もすぐ近くに居るので、何か質問があればいつでもたずねることができる贅沢な空間です。その上、フランス語の衛星放送 TV5 も見ることができます。あとはあなたのやる気次第。どんどん利用して、フランス語の達人になりましょう！

時間割

	火	水	木	金
FA	野澤	Viatte	Leroy	北村
FB	Gaillard	西川	山根	Maréchal

授業は 50 分×2 で、週 4 回。

授業の進度、構成、内容

FA のクラスでは教科書を用いず、担当教員 4 名が文化・文法・実践の観点から授業の内容を構築していきます。

FB のクラスでは、Jour 1, rendez-vous 1 から Jour 6, rendez-vous 1 まで進みます。詳しい内容は、別紙の<インテンシブ 1 授業内容 Tableau des contenus・intensif 1>で確認してください。

授業は、1 週間 4 回の授業でひとつのレッスン (*Agenda* では、rendez-vous) を終えます。ひとつのレッスンは次の 4 つのアクティビティにわかれます。

1. à découvrir (発見しよう) : 導入部分です。リスニングを中心に、その課の全体的な理解をします。
2. à savoir et à prononcer (知ろう、発音しよう) : その課の文法事項と発音を学びます。
3. à faire (やってみよう) : その課の内容にあわせて、クラスで協働作業をします。
4. réinvestissement (アクションを通して使ってみよう) : その課で学んだことが、どういう場面で、またどういう意味合いで使われるのか、総復習の回になります。実践演習だけではなく、ゲームなどのアクティビティを通して理解を深めます。

成績評価の方法

教員 4 人×25 点	合計 100 点
-------------	----------

最終試験

最終試験は、各担当教員の最後の授業の回 (1 月 16 日火曜、17 日水曜、18 日木曜、19 日金曜) に行ないます。※追試は一切行ないません。

ただし、petit test など、普段の授業での課題も評価の対象となります。25 点の内訳は、各教員が授業初回時にアナウンスします。

Conférence / Grande Rencontre

今学期はレクチャーを 1 回、Grande Rencontre (インテンシブ・フランス語を履修している学生が一同に集まる会です) を 1 回予定しています。

- 10 月 25 日 (水) Grande Rencontre
- 12 月 8 日 (木) Conférence

Conférence, Grande Rencontre は、インテンシブ・コースの一環です。

Conférence, Grande Rencontre の日は、インテンシブの通常の授業は行ないません。

時刻・場所は後日、メールおよびフランス語セクションのホームページで明示します。

国内研修

アンスティテュ・フランセ東京（旧称：東京日仏学院）で春休み、夏休みに行なわれる SFC オーダーメイドの短期集中特別コースです。午前中は少人数クラス（12～16人／クラス）によるフランス語学習、午後は各種アトリエに選択参加。他大学の学生と机を並べ、充実した勉強をすることができます。参考までに、今年の8月下旬から行なわれた研修内容は以下の通りです。

・2017年8月の研修概要

時期：2017年8月22日（火）～9月1日（金） 計8時間＝合計48時間

8月26日（土）、27日（日）、28日（月）に授業はありません。

受講料：84,000円（年会費不要）

海外研修

以下の7カ所で、年2回実施（春季、夏季）しています。2単位と4単位の2種類の研修があります。詳細は学期中に催される海外研修説明会で説明します。

フランシュ＝コンテ大学応用言語学センターCLA（ブザンソン）、グルノーブル第3大学フランス語教育センター、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ルーアン、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・マルセイユ、アリアンス・フランセーズ・ドゥ・ボルドー、クレルモン＝フェラン大学協定校（ヴィシー）

ラジオ・テレビ

NHKのフランス語講座の時間帯は次の通りです。ぜひ活用してください。

ラジオ：まいにちフランス語

放送： 月～金曜日 午前7：30～7：45

再放送： 同日 月～金曜日 午後2：30～2：45

再放送： 翌週 月～金曜日 午前11：00～11：15

テレビ：テレビでフランス語

放送： 水曜日（火曜深夜） 午前0：00～0：25

再放送： 翌週 木曜日 午前6：00～6：25

そのほかに、次のようなサイトもあります。

<http://www.nhk.or.jp/daily/french/> 日本のニュースをフランス語で聴けます。

<http://www.radiofrance.fr/> フランスのラジオ局（複数）の放送が聴けます。

<http://jt.france2.fr/> フランスの公共放送局 France 2 のニュースを視聴できます。

<http://www.lemonde.fr/> フランスの高級紙 *Le Monde* を読むことができます。

DELFDALF

DELFDALF および DALF という「フランス文部省認定フランス語資格試験」は、1986年5月より行なわれているフランス文部省認定フランス語資格試験で、セーヴルの中央機構

Commission Nationale 全国委員会の管理のもと世界 160 余カ国で実施されています。

DELF・DALF はいわば世界標準的な資格ですから、フランスやフランス語圏の国に留学する際、言語資格面での保証となります。日本で各種奨学金試験に応募する際にも、その資格は仏検と並んで多くの場合強い味方になります。

DELF は A1, A2, B1, B2 の 4 段階、DALF は C1, C2 の 2 段階に分かれています。詳しくは DELF/DALF 試験管理センターのサイト (<http://www.delfdalf.jp/>) を参照してください。

TCF

TCF (Test de Connaissance du Français フランス語能力テスト) はフランス文部省公認の世界共通の、フランス語圏以外の国の人々を対象としたフランス語能力診断テストです。試験結果は合否でなく、得点で示されます。獲得得点は 2 年間有効です。試験は内容別に 3 つ (読解、文法、聞き取り) にわかれ、フランス語の総合力を確実にかつ正確に診断するとしています。

SFC は TCF の実施会場の一つです。試験は現在のところ 2018 年 1 月の土曜日に実施予定ですが、詳細についてはメール等で改めて連絡します。

<http://www.ifjtokyo.or.jp/cours/examens/types.php>

Niveau du Conseil de l'Europe 欧州評議会設定レベル		TCF	DELF/DALF
レベル 6	非常に優れたフランス語の運用能力を持つ。読むもの、聞くものの全てを即座に理解し、かつ的確に要約することができる。複雑なテーマについても、様々な形で、ニュアンスを交えつつ流暢に意見を述べるができる。	600～699 点	DALF C2
レベル 5	フランス語の優れた運用能力を持つ。含みのある難解な長文テキストであっても、そのほとんどを解し、自分の社会的な立場や仕事、学問との関わり、あるいは他の複雑なテーマについても、流暢かつ論理的に述べるができる。	500～599 点	DALF C1
レベル 4 autonome	フランス語を全般にわたって自主的に運用できる。複雑なテキストの要点を理解すると同時に、一般的あるいは専門的な内容の会話に加わり、筋の通った意見を明確かつ詳細に述べるができる。	400～499 点	DELF B2
レベル 3 seuil	フランス語を効果的にマスターしているが、限界がある。身近な分野の明快で標準的な表現なら理解する。旅行先で会話をこなし、自分に興味のある	300～399 点	DELF B1

	ることを話すことができる。計画やアイデアに関して短く説明することも可能。		
レベル 2	フランス語の初歩をマスター。身近な分野の単文を理解。 慣れた状況でならコミュニケーションが可能。自分に関する問題を単純な手段で表現できる。	200～299 点	DELF A2
レベル 1 survie	フランス語の基礎レベル。日常生活での単純且つ具体的な状況を理解する。相手がゆっくり話すなら、簡単なコミュニケーションも可能。	100～199 点	DELF A1

仏検（実用フランス語技能検定試験）

◇ 秋の仏検には準1・2・準2・3・4・5級の各試験があります。

実施日程

1次試験（準1・2・準2・3・4・5級） 2017年11月19日（日）

2次試験（準1級・2級・準2級の1時合格者対象） 2018年1月28日（日）

受付期間

- ・願書郵送による申し込み：2017年9月1日（金）－10月18日（水）消印有効
 - ・インターネットでの申し込み：2017年9月1日（金）－10月25日（水）23:59迄
- *SFC フランス語研究室では団体申込みを行います。受験料が5%安くなります。SFCでの申し込み期間は、追ってHPやメールで知らせます。

問い合わせ先 (<http://apefdapf.org/>参照)

財団法人フランス語教育振興会 仏検事務局

tel: 03-3230-1603 fax: 03-3239-3157

MMLSに、過去の問題集（音源付き）があり、フランス語研究室前にはパンフレットなどが置いてあります。また個々の相談にも応じます。チャレンジしよう！